

基礎・応用研究開発 (H18~H20)

「東京ベイエリアにおける水と緑のネットワーク形成に関する研究」

東京大学 石川幹子教授 (研究分担: 日本大学)

— 研究開発概要 —

- 地球環境問題の解決に向け、具体的な都市更新の手法、行動計画が求められている。
- 21世紀における自然と共生する都市環境のヴィジョンを世界に提示する場として、「東京ベイエリア」を選定し、生活の質の向上と豊かな海の自然の再生を目標に、環境インフラとなる水と緑のネットワーク形成の方法論と計画の提示・実現に向けたプログラムの検討した。

課題

- 広域から地区をつなぐ環境インフラの情報
- 多様なステイクホルダーを参加させる仕組み

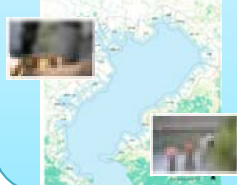


緑の基本計画における「実現のための施策の方針図」集合図。広域的なネットワークと個々の自治体の施策とが乖離している。

研究手法

1. 環境インフラのデータベースの作成(環境基盤図の作成/市民・企業の臨海部での活動と利用①工場緑化とCSR②市民環境NPO③水辺へのパブリックアクセス)
2. 「水と緑のネットワーク計画」の作成
 - ① 湾岸自治体における既存の緑地計画調査
 - ② 水と緑のネットワーク計画の作成
3. 「モデル地区」における詳細計画作成(川崎、千葉)

衛星画像による緑被地分布分析、と現地調査



企業アンケート調査



環境NPOアンケート



成果

- 東京ベイエリアにおける「環境基盤図」「水と緑のエコロジカルネットワーク図」
- モデル地区でのアクション・プログラムの提示
- ワークショップ、シンポジウムによるステイクホルダーへの成果の公開と共有

環境基盤図



水と緑のエコロジカルネットワーク図



アクションプログラムの作成と成果の公開



— 研究開発成果・今後の展開 —

- 東京ベイエリアの「環境基盤図」、「水と緑のエコロジカルネットワーク図」の作成・公開
 - : 大都市圏湾岸域における、生物多様性の回復と環境再生に向けた環境修復型広域都市計画の学術的基礎
 - : メガシティの湾岸地域において、地区～広域計画(1/500 ~ 1/50,000)に対応した、初めての詳細なエコロジカルネットワーク図
- 市町村の地区計画、基本計画および広域計画への「環境基盤図」「水と緑のエコロジカルネットワーク図」の反映
 - : 「環境基盤」と「エコロジカルネットワーク」の階層性を、都市環境計画と市民・企業活動とに反映し、連携させることで、メガシティにおける自然環境の再生、持続的維持に向けたアクションプログラムに結びつける。 → 地球環境へのリアルな貢献